

「小銅鐸出土地名表」について

従来色々な形で「小銅鐸出土地名表」が公表されているが、これとは別に、新たに「小銅鐸出土地名表」を作成することを試みた。

2002年に大まかな作業をおこなった後、一時作業を中断していたが、2008年5月に作業を再開した。

一応現段階で表を纏めたので、小銅鐸に関心を持つ方々に自由に利用して戴ければ望外の喜びである。

ただ、まだ検討不十分な点多々あるので、誤りなどご指摘戴ければ幸甚である。

この「小銅鐸地名表」の作成にあたって特に下記のような諸点に配慮した。

(1) 「小銅鐸」の定義

ここでははっきりした定義はおこなっていないが、おおよそ高さ15cm以下で、従来「小銅鐸」として一般に認められてきているものを取り上げた。

(2) 3種類の表

「小銅鐸出土地名表」を下記の3種類に分けて表記した。

存在が確かな小銅鐸（所在不明分を含む）

現在または過去において存在が確実な小銅鐸。

小銅鐸かどうか不明確なもの

小銅鐸であるかどうか疑問視されているもの。

存在が疑問視されるもの

過去に公表された「小銅鐸出土地名表」に「小銅鐸」として掲載されているものの、実際には存在が疑問視されるもの。

(3) 地名の表記方法

近年、いわゆる平成の大合併で市町村の合併がおこなわれ、地名表記が変更されたところがある。ここでは、極力最近の地名表記に従うこととし、旧称は括弧内に記す形とした。

(4) 関係箇所からのご教示・ご協力

表の内容の正確さを期するために、個々の小銅鐸について、電話・手紙・メールなどで関係者の方々にご教示を頂戴し、その結果を表の形にしたものをもう一度お送りして内容をチェックして戴くなど、可能な限り精度を高める努力をした。

別項に、ご教示・ご協力を頂戴した主な関係箇所を記した。

個人情報の取り扱いの観点から、各個人名を記載することは差し控えたが、皆様方のご教示・ご協力があってこそ、ここまで纏め上げることができた。ここにこれら関係各位に厚く御礼申し上げる次第である。